

州の山岳の一大特色を如實に示して居る。然し此の外尙研究対象とすべきものが残つて居る。或は屋久島、或は根子岳等である。

IV 態度

近時山岳熱の勃興は驚歎の外はない。各方面に於いて雨後の筈の如く續出する山岳會が、る山岳熱の勃興は一面慶賀すべきものであるが、又他面眞に擧蹙すべき現象の生じつゝある事も否む事の出来ない状態である。時代の流行とはいふものゝ余りにもザヤナリスティックな賣名的なアルピニストの出現が續出して居る。アルピニズムは彼等に己が名前を貸與へるには余りに高き誇を有するのである。例へば山靴にルツクサツク、ピツケル、ザイルの装ひで都會の街路を闊歩する所謂鈴組登山者の如き「眞理の春」にも山靴をばいて鎌倉の別荘でダンスをして居る某富豪の息子を述べてある。一似て非なるアルピニストといふべきである。彼等の登高意識は皆無なのである。吾々はかゝる御祭騒ぎの登山を全然斥

ればならぬ。學生山岳部の本質はその成立以來かゝる登山と戦つて來たのである。眞摯な登山者のグループ。吾々山岳部の目指すものは唯此れあるのみである。

又その登高意識の低次なるを以て或は靜觀的感傷的な登山のみを可とする者或はスポーツとしてのロツククライミングのみを享樂せんとする者が現れて來る。然し此れは眞のアルピニストたるの資格はない。吾々の目的とするものはかゝる限定せられた狭い範圍の登山ではない。

「眞のアルピニズムは登山を全体性に於て把握す。」といふ事を常に忘れてはならぬ。

最後に一言したい事がある。一般龍南人諸兄の中にはある事情の爲山岳部に入部出來なかつた。然し登山には多大の趣味を有して居るといふ様な方が或はあるだらうと思ふ。かゝる人に對しては山岳部はその希望に出來るだけ沿はんとする勞を厭はな

を行つて居る。又春夏の登山計畫への一般參加募集を歓迎し、或は閑暇を利用してプライベートに登山せられる人々があつたら目的として居られる山に對する概念、コース、日程、概算費用等を山岳部は出來るだけ御教示する積である。若し御用の方があつたら遠慮無く山岳部室——庭球コート（或は狹窄射撃場）の傍にあり毎中食時は開いて居る。——に尋ねて來られる様切に希望する。

龍南會の山岳部は取りも直さず龍南人一般の山岳部たる事を御記憶願つて此の拙文を終らうと思ふ。

演説部々報

○昭和五年度に於て
昭和五年度に於て我が部は何をやつたか。豫餞演説會・新入生歡迎演説會は、原稿を募集したが應募者無く遂に取止められた。四高專演説會・懸賞演説會はかなりの盛會であつた。五年度委員二人（熊本君福光君）の中、或る事情のため委員を止めたのは、

益々不振の傾向を示しつつある演説部に取つて大打撃であつた。流石の熊本君も遂に部の衰勢を挽回し得ずに終つた。そのあとを繼いだ我等は此の危機に立つて非常なる責任を感ずるのである。

○本年度に入りて

本年度に入り我部では鋭意その振興に努力してゐる。過日ガンナムを唱導しつゝ、あるソホン・シン氏(印度人)の英語演説を披露せんとしたが、外交問題に觸れる恐れありとの理由を以て許可されなかつたのは、返す／＼も残念であつた。當局の賛同を得ない様な人を招待せんとしたのは我々の手落ちであつたが、我々は氏が一高でも講演したと云ふ事を聞いてゐたので、多分許可があると思つたのである。先日の豫餞演説會には幸にも佐々木君・寺本君・櫻井君・富田君の雄辯家を得て二月十四日(土曜)午后一時より聞くこととしたが、幸か不幸か其日は一點なき小春日和に惠まれ、瑞邦館に集つた者は上述四人の辯士諸君と委員のみで、多くの暇人は豫餞演説何のそと云ふ

調子で一瞥もくれずに外出してしまつたのである止むを得ず其日は會を取止めて、なるべく多くの聴衆を得んがために十六日の中食後同會を催したが、やはり聴衆少く時間も不足して甚だ物足らなかつた。今又各方面に注意を配りつゝ、新入生歓迎演説會を開催すべく原稿募集申である。其他、本年度に於ける我部の計畫は遠大である。その中必ず實現させたいものに、近傍中等學校生徒の熱辯を期待する中等學校演説會・三高專聯合演説會・外國語演説會・懸賞演説會等がある。更に大學教授等知名の士を招待して龍南大衆の知識を、いさゝかなりと高めん事に資したいと努力してゐる。

○演説部の規則

演説部が如何なるものなるかを知らない者もあるかも知れないから茲に簡単に紹介しよう。

抑演説部には部員と云ふ者が無い。總て演説部は部員の演説部ではなく一般龍南人の演説部である。演説會を開かんとする度毎に、先づ委員が一般龍南大衆からその會に

出演すべき演説の原稿を募集する。應募者の原稿は一週間を限つて部長(現在宇佐美先生)の點檢を受け、又時には校長先生其他の點檢を受けて、その内容中、學校當局の志向に合はないものは削られる。内容次第に依つては時として全々出演を許されない事もある。そして點檢に通つたもののみ出演すると云ふ規則になつてゐる。又我が部で名士を招待せんとする時も、一應學校當局の許可を受けなければならない。

○演説部の衰微とその原因

近時演説部は龍南會諸部の中最も影の薄い部となつた。或者は演説部を評して有名無實と呼んだ。最近の演説部を省みてその無能を思ふ時、我等は此の言葉に默從しなればならない。何が演説部をそうさせたか？それには色々理由もあらう。併し近時龍南一般に漲る無氣力こそその最大原因の一つではあるまいか。原稿を募集してもその度毎に委員は應募者僅少のため困らされる一人や二人の出演者では會を開く氣にもなれない。健兒一千の中には一般に向つて吐

桑 原 記

音樂俱樂部記事

露すべき意見なり考へなりの所有者はかくも少いものだらうか？否、自分は澤山ある事を信じて疑はない。果して然らば彼等にはその意見なり考へなりを堂々演壇に立つて披瀝すべき勇氣が欠けてゐなくて何であらう。或者は云ふかも知れない。『意見はあつても勇氣はあつても削られるからしやべれない』と。自分は彼に聞きたいのである。『それでは削られない様な意見はちつとも無いのか』と。削られる様な意見は彼自身の爲めにも、將又一般龍南人の爲めにもしやべらないのが利口である。唯委員は削られない程度の意見の披瀝を只管ら切望してゐる其人が雄辯か訥辯か等は敢て問題としないのである。演説部衰微の原因の因たる即ち何が龍南を無氣力にさせたかに付いては諸君等の頭にヒンと來る何物かあらう。併し『それは龍南自身である』と云ふ大きな原因があるのを見逃してはならない。

「苦しみ、苦しみとして味ひ行く者の上に幸あれかし」。

全ての人の爲に、此後の者の爲に、貴き魂の糧を分つ可く豫言者は受難の荆冠を捧げねばならぬ。眞理の愛撫者、エロスへの限り無き憧憬は、ソフィヤをかつて生命の泉を汲ましむ可く苦難の歷程を續けしめる天國へ通ずる路は荆棘の路である。されど人の手達よ、荆棘に閉ざされた闇の中から、魂の美はしき旋律が漂ひ來るではないか。是雄々しくも育ち行かんとする音樂部管絃樂團に取つての洗禮の寫繪である。

本體に對する懷疑は現象の分解研究に依つて満足される物ではない。疑ふ故に存在するコギターの根本法則、其自らは既に一つの假説ではないだらう。かくて思惟者は最後に其身を眞理の深淵に投ざればならぬ音樂生命の客觀的把握の不可能性に對する屢々の懷疑的な煩悶は、其美しき情緒さへも憂鬱の檻に閉ぢ込めらる。併し薔薇色の夢の彼方、虹の國、甘き泉と清き流れの中に棲息する「瀕死の白鳥」を思ふ時、誰か音樂を

否定し得よう。音樂は、まことに宗教が與へ得ざる物、哲學が解き得ざる物、最もイデー的にして最も渴求せらるゝ物を與へて呉れる。アプリオリのアプリカリー、是を音樂は嘯く。かくて客觀的にも概念的にも把握し得る物以上に、藝術の内面に躍動する美の生命其物の中に、我々は自らの生命をヒナインレーベンし、又は直接其中にアインフアーレンしなければならぬ。美しき又は崇高なる自然印象の美的享樂は我々が自然に魂、ベセルンを與へる事に依つて可能である。さればこそ、ソナタは銀色の綾を投する月光の下で永遠普遍の生命を獲得したではないか。ワグネルは人生觀の結論として「ニールンゲン」の指輪を残したと云はれて居る。我等は更に新しき世界觀の把握に向つて進む可きである。且又我々は音樂に依つて生ずる初等美的感情を弄んではならない。今や音樂の爲の音樂は既に許されず、更に進んで人生の爲社會の爲の藝術に向つて飛躍しなければならぬ。然らば王者は、遂に、贅しき衣の中にも